

株式会社京王ズホールディングス
平成22年10月期(第18期)第2四半期
決算説明資料

H22.6.14

業績比較

(百万円)

	H21.10期 第2四半期		H22.10期 第2四半期		対前年同期比	
	金額	対売上高	金額	対売上高	増減額	増減率
売上高	6,379	100.0%	5,811	100.0%	△568	△8.9%
売上総利益	929	14.6%	1,081	18.6%	153	16.4%
販売費及び一般管理費	773	12.1%	816	14.0%	43	5.6%
うち、給与手当等	367	5.8%	384	6.6%	17	4.5%
地代家賃	109	1.7%	110	1.9%	1	0.9%
販売促進費	11	0.2%	26	0.4%	15	130.5%
のれん償却額	53	0.8%	53	0.9%	0	0.0%
営業利益	156	2.4%	265	4.6%	109	70.0%
営業外損益	50	0.8%	△30	△0.5%	△80	-
経常利益	206	3.2%	235	4.0%	29	14.0%
特別損益	△52	△0.8%	△5	△0.1%	47	-
税金等調整前四半期純利益	153	2.4%	229	4.0%	76	49.4%
四半期純利益	145	2.3%	245	4.2%	100	68.6%

個人消費低迷の影響により、売上高は前年比で8.9%減少しております。しかしながら、利益額につきましては、販売促進費等の増加により販売費及び一般管理費が5.6%増加しているものの、利益率の向上により売上総利益で16.4%増加しており、費用の増加分を吸収しております。その結果、営業利益で前年比で70.0%、経常利益で14.0%、四半期純利益で68.6%の増益を達成しております。

財政状況

(百万円)

	平成22年4月末	平成21年10月末
流動資産	2,122	2,012
固定資産	3,410	3,462
総資産	5,533	5,475
流動負債	2,166	2,595
短期借入金等	908	1,259
固定負債	1,412	1,231
長期借入金等	1,358	1,182
負債合計	3,578	3,827
資本金	1,199	1,172
資本剰余金	822	795
利益剰余金	△ 74	△ 317
純資産	1,955	1,648
負債・純資産合計	5,533	5,475
自己資本比率	35.0%	30.0%
純有利子負債額	1,725	1,873

順調な利益の積み上げにより、自己資本比率は飛躍的に回復しております。

当第2四半期において、短期借入金を長期借入金に借り換えを実行し、流動比率の改善を図っております。

純有利子負債額は、順調に減少しております。

純有利子負債額は、短期借入金＋1年内返済予定長期借入金＋1年内償還予定社債＋長期借入金＋社債－現預金で計算しております。

■ 第2四半期 事業セグメント別売上高・営業利益 株式会社京王ズホールディングス

事業セグメント別売上高

(百万円)

	H21.10期 第2四半期	H22.10期 第2四半期	対前年比
移動体通信 事業	6,170	5,480	△11.2%
テレマーケ ティング事業	148	280	89.2%
不動産賃貸 事業	61	51	△16.7%

事業セグメント別営業利益

(百万円)

	H21.10期 第2四半期	H22.10期 第2四半期	対前年比
移動体通信 事業	298	280	△6.1%
テレマーケ ティング事業	△84	48	—
不動産賃貸 事業	17	9	△47.0%

■ 移動体通信事業

スマートフォン等一部機種的好調により新規販売台数は第1四半期に引き続き前年を上回るものの、個人消費意欲は弱い状況が続いており、売上高は前年比11.2%減の54億80百万円、営業利益は前年比6.1%減の2億80百万円を計上。

■ テレマーケティング事業

コスト管理と成長性のバランスを図り業績改善を達成。売上高は前年比89.2%増の2億80百万円、営業利益は48百万円を計上。

■ 不動産賃貸事業

新規テナントの獲得に努めるも、売上高は前年比16.7%減の51百万円、営業利益は前年比47.0%減の9百万円を計上。